

教科(科目)	福祉(介護総合演習)	実施学年 (履修規定)	第1学年 必修
単位数	福祉科 1単位	教科書	介護総合演習(メヂカルフレンド社)
		副教材	
科目の目標	介護演習や事例研究などの学習をとおして、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、課題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。		
目標達成に向けての取組	<ul style="list-style-type: none"> ・介護実習と関連づけ、主体的に介護実習に取り組めるようにする。 ・生徒の興味・関心・進路・地域の実態に応じた演習テーマを主体的に考えることができるように配慮する。 ・介護実習を通じて生徒が自己の課題を考え、介護従事者としての意識を持てるようにする。 		

◇ 進度

月	単元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
4	介護実習とは	○介護実習の意義と目的 ・介護実習の必要性 ・介護実習の内容 ・介護実習の達成課題と達成目標	介護実習要項 レポート	・介護実習の目的が説明できる。 ・介護実習の内容が説明できる。
5	実習生としての基本事項	○実習生としての基本事項の理解 ・身だしなみ ・実習への取り組みの姿勢、態度 ・言葉使い ・時間管理能力 ・実習における健康管理 実習前健康診断	健康診断	・実習生として身だしなみが整っている。 ・実習への心構えができている。 ・事前健康診断の重要性を理解している。
6	実習施設オリエンテーション	○オリエンテーションの実際 ・施設の沿革、概要 ・実習内容 ・確認事項 ・実習目標の立て方	実習記録 レポート 事前学習	・事前準備や学習ができている。 ・実習への心構えができている。
7		○実習記録 ・実習における記録の必要性 ・実習記録の目的 ・実習記録を書く際の留意点 ○介護技術の確認	実習記録 現場実習先打ち合わせ記録 実技チェック	・事前準備学習ができている。 ・記録の基本的記入方法が習得できている。 ・基礎介護技術の確認ができています。
8	夏季休業			・自主性を重視する。
9	基礎実習 I 通所介護実習	○実習事前準備 ・実習生プロフィール作成 ・実習目標設定 ・施設・利用者の理解 ・実習施設オリエンテーション 施設事前打ち合わせ 通学方法確認 ・実習記録の書き方	実習記録 実習評価表 現場実習先打ち合わせ記録 実技チェック 実習レポート	・自己を客観的に表現できる。 ・目標設定が妥当である。 ・基礎介護実習に意欲的に取り組んでいる。 ・実習記録が適切に書けている。
10	介護実習 (基礎実習 I) (通所介護実習)	・カンファレンス 10月17日～11月7日	実習記録	・利用者や職員とコミュニケーションは図られている。 ・現場実習先で課題を持って実習できる。
11	事後学習	○実習の振り返り ・実習記録からの振り返り ・実習のお礼	実習記録 実習評価表	・記録の基本的記入方法が習得できている。 ・現場実習先で課題を持って実習できている。

月	単 元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
1 2		・実習后感想文 ・実習報告会	自己評価表 発表材料	・実習後のまとめができてい る。
	冬季休業			
1	介護の場と実習	○実習施設とその利用者の理解 ・高齢者介護施設 (ケアハウス, 小規模多機能型居住型施設, グループホーム, 特別養護老人ホーム, 介護老人ホーム)	レポート	・次回の実習に向けて学習が できる。
2		・身体障害児・者施設 ・重症心身障害児・者施設 ・知的障害者更生施設 ・救護施設	レポート	
3	基礎実習Ⅱ	○基礎実習Ⅱの達成課題と達成方法 ・介護過程	実習要項 実習記録	・基礎実習Ⅱがイメージでき る。
学年末考査				

評価の観点及び趣旨

科目を3年間で分割履修する初年度である。「介護実習」で多様な介護現場を実際に学ぶため介護実習施設Ⅰにおいて10月に4日間、1月下旬～2月中旬に11日間の実習を実施する。そのため、実習事前、実習中、実習後の指導を計画的に指導する。介護福祉士受験資格を得るためには校外介護施設での実習が必修であるため介護総合演習における指導と連携して科目の目標が達成できるよう指導する。

① 関心・意欲・態度

社会福祉に関して学んだ基本的知識や技術を、高齢者や障害者の総合的介護における対人援助場面において、実践して主体的に学ぼうとする。また、社会福祉現場実習を通じて介護専門職の職業観、勤労観を持つ。

② 思考・判断

社会福祉に関して学んだ基本的知識や技術を、高齢者や障害者の総合的介護における対人援助場面において、統合的に思考し判断できる。

③ 技能・表現

社会福祉や介護に関して学んだ基本的知識や技術を活用して、高齢者や障害者の総合的介護において、総合的に援助の技術を用いて、適切に表現する。

④ 知識・理解

社会福祉における高齢者や障害者の介護や福祉後識や技術を科学的に理解する。

「社会福祉実習」の総合評価における各観点の割合

① 関心・意欲・態度	25%程度	② 思考・判断	25%程度
③ 技能・表現	25%程度	④ 知識・理解	25%程度